

OBA58(福山市立女子短期大学)

平成
23年度

◎チーム紹介と活動内容

「OBA58」は、福山市立女子短期大学保育科の58名からなるチームです。活動内容は、顧問の大庭先生の指導を受けながら、福山市立女子短期大学保育科で開発した地域の歴史や文化を題材としたオリジナル教材（紙芝居・リズム・運動遊び）を公演し、子どもたちと交流します。また、本学オリジナル教材「カッチンくん」（ペットボトルの底を再利用した楽器）は、造形活動から運動遊びまで展開できる教材として好評を博しています。

◎活動の様子

活動教室：神石高原町豊松教室

日時：平成23年12月22日（木） 16：00～17：00

場所：豊松公民館

参加人数：9名（大学生ボランティア）、18名（子ども）



子どもたちは、大学生からクリスマスカラー「カッチンくん」（ペットボトルの底を再利用した楽器）の作り方を丁寧に教えてもらい自分で作りました。輪ゴムを穴に通して結び、緑と赤のカラービニールテープを張って完成です。作業が難しいところは大学生が優しく手伝っていました。



子どもたちは自分で作った「マイカッチンくん」を手にして、二上りリズムを豊松クリスマスバージョンで踊り（トマト、サンタさんが登場）、とっても盛り上がりました。OBA58の故郷、福山の紹介が盛り込まれたエクササイズサイズの「フクヤマニクス」で楽しく体を動かしました。最後に大学生のハンドベルの演奏に合わせて、皆で楽しくクリスマスソングを歌いました。

○学生の皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

豊松の子どもたちは本当にかわいかったです。子どもたちが、笑顔で活動してくれたのでとてもやりやすかったです。また、子どもたちがノリノリで活動してくれたので私たちも笑顔になり、とても楽しかったです。自分で「カッチンくん」を作る、自分で作った「カッチンくん」を使って体を動かして楽しむ、こんな活動をもっとたくさんの人に伝えていきたいと思います。

○市町スタッフの皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

子どもたちに「ほめる」声かけをたくさんしてもらい、子どもたちの興味につながりました。いろいろな物を使って体を動かす、リズムを使うなど、子どもたちを飽きさせないプログラムでとても良かったです。このような大学生との活動は、マンネリ化しやすい教室に力をもらえるものになりました。子どもたちは、初めはおとなしくしていましたが、慣れてくるとすごく大学生と親しくなりとても楽しんでいました。